

本田宗一郎

生誕100年記念

メモリアル



CHALLENGING SPIRIT

本田宗一郎

生誕100年記念

メモリアル



I have a dream

夢 挑戦 実現



昭和 59 年フランス、サレーブ山（標高 1300m）頂上より、
ハンググライダーでスイスのジュネーブ郊外まで飛んだ。
本田宗一郎、当時 77 歳



天 竜 公 演

平成18年11月12日（日） 13:00～
会場：浜松市天竜壬生ホール
静岡県浜松市天竜区二俣町二俣20-2



別 府 公 演

平成19年7月29日（日） 13:00～
会場：B-con Plaza「フィルハーモニーホール」
大分県別府市山の手12-1



C O N T E N T S

ごあいさつ	4
本田宗一郎生誕100年	
記念式典 第1部・第2部	5
読書感想文・絵画優秀賞作品	6
記念式典 第3部	8
記念祭	9
遺品展	10
本田宗一郎生誕100年記念	
天竜公演 コンテンポラリーダンス	11
ミュージカル	12
ASIMO SHOW	13
別府公演 公演プログラム	14
ロック太鼓	15
コンテンポラリーダンス	16
ミュージカル	17
別府公演写真	19
ミュージカル練習風景	26
エピソード	27
出演者寄せ書き	28
感想文・手紙	32
本田宗一郎ゆかりの地	36
本田宗一郎年譜	37
ミュージカル「本田宗一郎物語」楽曲	39
やらまいか	42
編集後記	47

本田宗一郎生誕 100 年記念別府公演を振り返って

本田宗一郎顕彰会会長 大橋 武司

平成 18 年 11 月、本田宗一郎さんの生誕 100 年をお祝いし、生誕の地浜松市天竜では、地域の人々の手によって様々な記念行事が行われました。中でも子どもたちが中心となって上演したミュージカル「本田宗一郎物語」とコンテンポラリーダンスは多くの人々に大きな感動を与えました。

その折、ご臨席いただいた奥様の本田さちさんもこのミュージカルに大変感動され、「是非もっと多くの人々に見ていただきたい」とおっしゃり、平成 19 年 7 月の別府公演が実現しました。出演した子どもたちは勿論、スタッフ一同も大変喜んでこの公演に全力で取り組んできました。

別府公演では、九州の多くの皆さんから好評をいただき、改めて本田宗一郎さんの強烈な生き方や素晴らしい人となりを感得していただくことが出来たと確信しました。

さらに、本田さちさんは、今回のこの大成功した記念事業を末永く子どもたちの心に刻んでおきたいと考えられ、本事業の記録をアルバムとして残そうと提案されました。そして、ここにこのような立派な記念誌が完成いたしました。

このアルバムは生誕 100 年記念の行事に携わった子どもたちの心に大きな思い出として残り、本田宗一郎さんの考え方や生き方からの教えとともに生き続けることと思います。

本田さちさん始め、ご協力いただいたホンダ太陽、ホンダロックの皆さん、子どもたちとともに活動していただいたスタッフの皆さん、応援していただいた保護者の皆さんに心からお礼申し上げます。

驚き、喜び、感謝の別府公演

芹沢 文子

今回ミュージカル「本田宗一郎物語」別府公演という素晴らしい機会を与えていただきましたことを、本田さち様に心よりお礼申し上げます。

天竜の子ども達にとりまして、まさに「夢・挑戦・実現」を体感するような出来事でした。当日舞台上の出演者は、どの顔も誇らしく輝きを放ち「私たちの表現する宗一郎さんを観て下さい」と言わんばかりに存在していました。

1 つの作品の中では到底語り尽くせない魅力に溢れた「本田宗一郎」を少しでも感じて演じてもらえるように、そしてその人生に触れたことのない子ども達にも何か伝わるようにと創り上げてきたものが花開いた瞬間、私の胸は震えました。

私にとりまして、脚本制作にあたって「本田宗一郎」その人の歴史に触れた事は、驚きと喜びの連続であり、人間「本田宗一郎」の生き方から多くを学ぶことができ、本当に素敵な経験でした。出演した子ども達の心の中に「別府で公演したんだ!」という喜びと共に「本田宗一郎」の生き方から感じとった 1 つ 1 つが小さな芽となり育ち、これからの生きる糧となりますことを願ってやみません。

最後に公演開催にあたり、御尽力いただきました「本田宗一郎顕彰会」の皆様「ホンダ太陽」「ホンダロック」の皆様、事務局の皆様、制作スタッフの皆様、そして保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

そしてさち夫人「本当にありがとうございました。」
「田舎の子ども達だって捨てたもんじゃないでしょう!」

まだまだこれからだよ 天竜っ子! 宗一郎というどでかい山は、きつとみんなの夢や挑戦を笑顔で見守ってくれるはずだから

さあ、夢にむかってやрмаいか!

平成18年11月12日（日）

開場／12時30分 開式／13時00分

会場／浜松市天竜壬生ホール

■ 第1部 記念式典 ■

- 1 開 式
- 2 ハッピーバースデーを合唱
- 3 本田宗一郎の一生を映像（ビデオ）で紹介
- 4 本田宗一郎への感謝のメッセージ
（光明小学校 ドリーム委員会 児童）
- 5 実行委員長あいさつ
- 6 市長あいさつ
- 7 来賓祝辞

■ 第2部 表彰式 ■

- 1 本田宗一郎伝記読書感想文コンクール
- 2 本田宗一郎似顔絵・オートバイ絵コンテスト



本田宗一郎への感謝のメッセージ



ハッピーバースデーを合唱



本田さちさんほか 来賓の皆様



実行委員長あいさつ



本田宗一郎伝記読書感想文コンクール



本田さちさんにあいさつする皆様

ためす人になろう

浜松市立光明小学校 三年二組
片桐 瑚波

本田宗一郎さんは、私が通う光明小学校に「ためす人になろう」というスローガンを送ってくれた人です。本田宗一郎さんは光明小学校の大先輩です。そして、せかいの「ホンダ」を作り上げた人です。学校にある「本田さん資料室」でオートバイや写真を見て、私は本田さんのことをもっと知りたくなりました。そこで、この「空とぶオートバイ」という本を読んでみようと思いました。

この本は、山間の小さな村に育った本田宗一郎さんが、やがて、世界一のオートバイを作り上げるまでのお話です。

本田宗一郎さんは、子どものころ、いたずら好きなわんぱく少年だったようです。先生の授業のじゃまをしたり、校長室の金魚を「赤ばっかりでつまらん」と言って、青、黄、むらさきのエナメルで色を塗ったりしてしまいました。今、こんないたずらをする人はいません。

でも、いたずらばかりしていたのではなくて、精米機や自動車のエンジンにあこがれて、光明村から車で一時間もかかる浜松まで自転車をこいで飛行機を見に行くほどきかいが大好きな子どもでした。わたしは、いくら見たくても光明から浜松まで自転車で行くなくて、すごいと驚きました。行ったこともない知らないところへ一人で何時間もかけて行ってしまうなんて、私にはできそうもありません。

この本で一番心に残ったのは、ピストンリングを作った時のことです。ピストンリングは「鋳物」という物で作ります。鋳物は簡単なものではなくて、二・三年修行をしないと作れないんだそうです。本田宗一郎さんは、夜遅くまで研究をつづけました。何度も失敗を繰り返して目標に向かって頑張りました。そして、学問の大切さを知って、浜松高工に通うことにしました。勉強をして新しいことに挑戦していききました。そういう努力が実ってやっと、ピストンリングが出来上がりました。油だらけになってくじけずにやったから、成功したのです。

わたしは、この話を知って「ためす人」とは、本田宗一郎さんその人のことだと思いました。本田さんは、ためすことで自分の夢をかなえたのです。そして、私たちに「ためす人になろう」と伝えてくれました。

私は、本田さんの好きなことに夢中になっていく生き方を知って、願いをかなえるためには、何事にも負けずに頑張らなくてはいけないと感じました。あきらめなくて出来るようにするには、どうしたらいいか勉強して、そして、ためさなければいけないと思いました。「ためす人」になりたいと思います。

「私の手が語る」を読んで

浜松市立二俣小学校 六年三組
竹井 夏流

ぼくは、オートバイに興味があります。そのオートバイを作り出した本田さんのことにも関心があってこの本を読むことにしました。

本田さんのやり方で一番感心したのは、未来を知りたいという意味です。やはり、経営者として大事なことは、過去にとらわれずに絶えず先を見て、新しい考え方や商品などを産み出していくことが大切なんだと思いました。

自分が「どういう大学を出た」とか「こんなことを勉強した」などにこだわっていると過去に押しつぶされて、そこから抜け出せなくなってしまうという考え方にも共感しました。いくら良いことを知っていたり、いろんなことを学んでいたとしても、それを未来や自分の成長のために使うことができないと、それは無意味な存在になってしまうと思ったからです。自分が好きなことや得意なことを頑張って勉強し、知らないことは、その道の専門家や学者に聞いて、みんなで協力してやっていくことも大事なことであったとわかりました。そして、教わって知った、やって知ったという体験によって得た知識が、自分を未来へ進ませることに役立つということがわかり、これからは、僕も自分から進んで何事も実行して、多くのことに挑戦していききたいと思いました。

また、本田さんの自分に物事を教えてくれたり、アドバイスをくれたりする専門家や学者などの人たちに対して、応える気持ちを忘れないこと、教えてあげてよかったと思ってもらうことは、自分の知らないことを教えてくれている人たちへの思いやりだということに気がつかされました。やはり、みんなが協力し合ってやっていくためには、周りの人への思いやりが一番大切になってくると感じました。そうやって、やさしさや思いやりの精神で人とかわりあって生きてきた本田さんだからこそ、「世界のホンダ」を築き上げることができたんだと思うし、ここまで発展させることができたのも、本田さんの絶えず先を見つめ、未来を知るという姿勢があったからこそだと思いました。



「試す人になれ」母校光明小学校の創立100周年に生徒にメッセージ送る。

history 1



飛行眼鏡をかけ、スミス号の飛行士に憧れる

夢を追いかける

浜松市立清竜中学校 三年一組
村井 萌乃

「物まねは嫌い。ユーモアと純情」私はこの本田宗一郎の言葉に目を引かれました。何物にもとらわれず、自分の描いた夢に向かいどんどん挑戦していく姿。堅苦しいだけの生活ではなく、人生を明るく楽しく保っていく姿。熱心に物作りをする姿。そんな本田宗一郎が頭に浮かんでくるようです。

いつ頃だったか、母に連れられ、本田宗一郎展を観に行ったら、ふと一つの大きなパネルが私の目に飛び込んできました。そこには彼の手が描かれていました。その手には何十個もの傷があり、カッターやハンマーでできた傷、キリやバイトが突き抜けた跡。「満足なのは小指だけ、別に深い意味はない。」と、彼の言葉にもあるように、本当に傷跡だらけでした。私は思わず息を飲みました。世界の本田と言われる人が、これ程までに傷だらけになり追い求めた夢。その傷から、彼の苦労と仕事にかける情熱に胸をうたれました。

本田宗一郎は明治三十九年、旧天竜市に生まれました。彼の父は鍛冶屋で宗一郎は幼い頃から物作りに親しんで生活してきました。彼が世界の本田といわれるまでに成長した原点はここにあるんだと、私は思います。彼の物作りへの熱心さはとても強く、家から遠く離れた場所にあるにもかかわらず、機械や車を見に行ったり、なんと二十キロ離れた所に自転車で飛行機を見に行くなどもしていました。よほど好きでなければ普通はそうできることではありません。そんな物事に夢中になれる彼の姿はとても輝いていたと私は思います。自分を振り返ると、私にもこんなに夢中になった事が、はたしてあったのでしょうか。一時期、のめりこみ熱中したものはあっても、彼のように人生の全てをかけるほど夢中になったものは、きっとないと思います。あらためて本田宗一郎の偉大さを感じました。

本田宗一郎は職人の腕はもちろんのこと人間的にもとてもすばらしい人です。そんな彼は、いくつかの言葉を残しています。「人間関係こそ一番大切、覚えるのはコンピュータで良い。」私はこの事は今の時代に大切なことだと思いました。記憶の優秀さも大切ですが、良好な人間関係が築けていれば、どんな情報や知識でも入ってきます。それだけで自分の知識が広がり成長できるということです。無理に全てを吸収しなくても、人間関係の中で少しずつ自分のためになることを知っていけばよいのだと思いました。そしてまた、人と接して初めて学ぶこともあります。そういった出会いを大切にしなければいけないと思います。「悪い子に期待する」これも本田宗一郎の言葉です。彼は個性というものをとても大事にしています。なんでも親や周りの言いなりになる子や、大人の考え方の枠から飛躍しようとしないうる良い子より、自分の意志を表明し、主張したり、個性的な行動を示す悪い子に期待しているという。なぜならば、そういう子どもたちこそ個性の芽生えを持つ、頼もしい、可能性に満ちた本当の意味での良い子だからで

す。型にはまって、何でも素直に受け入れてしまっていれば、そこから抜け出せず成長することができないし、得る物も少ないと思います。だから悪い子といわれるのを恐れず様々なことに挑戦して、多くの体験を通して成長していくのが大切なんだと思います。本田宗一郎は個性の大切さを小学生のときから感じていました。個性があるからこそ、新しいものを作り出すことができ、今の発展したホンダの会社があるんだと思います。

本田宗一郎はつねに夢を持ち、そのために努力をしてきました。彼の手がそれを物語っています。技術においても経営においても、創造力こそ力の源泉であり、創造力は見果てぬ夢から生まれる。夢を捨て、失敗を恐れるときに人間の創造力はしばむ。本田宗一郎の生涯をたどり、あらためてそのことを痛感します。

最後に偉業を成し遂げた彼が、この天竜の地の出身者であるということを私達は誇りに思い、彼の夢を追いかける熱く強い精神力を見習い、今、自分の目の前にある事をしっかりと見つめ、私は私自身の夢の実現に向けて、決して途中であきらめることなく、一步一步着実に成長していきたいと思います。



オートバイ絵コンテスト 最優秀賞作品



似顔絵コンテスト 最優秀賞作品

平成18年11月12日 掲載

感想文コンクール			似 顔 絵 コンテスト	オートバイ絵 コンテスト
小学校低学年の部	小学校高学年の部	中学生の部		
＜ 最優秀賞 ＞				
片桐 瑚波 (光明小 3 年)	竹井 夏流 (二俣小 6 年)	村井 萌乃 (清竜中 3 年)	中村 美千代 (馬郡町・一般)	中村 勇太 (天竜中 2 年)
＜ 優 秀 賞 ＞				
井野口 由季 (光明小 2 年)	大石 浩平 (二俣小 6 年)	三室 輝佳 (光が丘中 2 年)	鳥山 裕斗 (光明小 5 年)	小川 大地 (光明小 4 年)
老川 恭平 (光明小 2 年)	近藤 さくら (光明小 4 年)	守田 千純 (清竜中 3 年)	空出 瑞穂 (光明小 5 年)	市川 和輝 (二俣小 1 年)
坪井 美夕 (光明小 2 年)	北内 一圭 (下阿多古小 4 年)	牧下 沙也加 (光が丘中 1 年)	浅野 文彦 (山東・一般)	松居 賢哉 (光明小 4 年)

■ 第3部 記念公演 ■

- 1 伝統・芸能とコンテンポラリーダンスの共演
～天竜川の雄大さを、手づくり打楽器とダンスが織りなす～
- 2 ミュージカル「SOICHIRO 物語」
～本田宗一郎が、いま～生誕の地によみがえる～

◆伝統・芸能とコンテンポラリーダンスの共演

キャスト

中島	知里	鈴木	彩	村松	美緒	遠藤	愛理	細井	祐子
市川	千遥	岡部	奈津美	鈴木	郁美	黒川	沙織	金指	里奈
花島	栄莉菜	小木	亜純	吉林	摩耶	吉林	晃穂	山下	海
内山	梓								
阿部	葵	伊藤	瞭	太田	有美	寺本	リサ	八木	哲平
寺本	リエ	太田	峻輔	白井	秀馬				



ASIMOを囲んで



記念公演

◆ミュージカル「SOICHIRO 物語」

キャスト

青柳	早織	遠山	麻実	西田	愛	山田	桃花	梅林	亮生
大角	真名人	河合	莉緒	近藤	まりも	酒井	藍	酒井	空
生田	三紗季	袴田	郁哉	平賀	建渡	藤澤	晴菜	伊藤	杏奈
大石	愛	太田	沙絵美	大橋	裕大	佐藤	来未	花平	優
藤澤	紫野	馬淵	芽依	光岡	香菜子	北内	花実	佐藤	希望
佐藤	希望	三室	輝佳	中田	和江	今田	史隆	竹山	あかね
石野	良子	天野	豊久	山田	大介	山田	愛		

コンテンポラリーダンサー

スタッフ

脚本・演出・演技・歌唱指導 芹沢 文子
 ダンス指導 太田 良子 作・編曲 山本 裕治
 舞台監督 酒匂 政博
 企画 天竜教育事務所 生涯学習課



ASIMOを囲んで



記念公演

平成18年11月4日（土）～26日（日）

会場／浜松市天竜壬生ホール 展示ギャラリー

展示コーナー ～本田さん夢をありがとう～

F1 レーサー・マシン展示、GP・マシン展示、名車の展示、
本田宗一郎「軌跡展」、本田宗一郎「空への夢」、似顔絵コンテスト展示、
バイク絵コンテスト展示、マン島 TT レース関連

セレモニー

11月12日（日）9時30分～ 会場／浜松市天竜壬生ホール 芝生広場

- ❶ 開会
- ❷ 来賓あいさつ
- ❸ 若杉太鼓（天竜林業高等学校・郷土芸能部）
- ❹ マン島 TT レース出場ライダー走行披露（特別ゲスト 谷口 尚己 氏）
- ❺ エコラン出場カーチス号走行披露

記念講演

「おやじさん」を語る 11月18日（土）
～二輪レースの仲間達とおやじさん～

開場/13時00分 開演/13時30分 会場／浜松市天竜壬生ホール
マン島 TT レース出場ライダー及び関係者による、トークショー



無線機用発電機改造 Bicycle Engine(1946年)



GP・マシン展示



本田宗一郎似顔絵・オートバイ絵展示



谷口尚己氏



カーチス号 走行披露

自慢の
ポンポン大集合
in 天竜



自慢のポンポン大集合in天竜

子ども
ものづくり
体験教室



手づくり打楽器制作（天竜林業高等学校にて）



平成18年11月11日（土）～19日（日）

会場／浜松市秋野不矩美術館 市民ギャラリー

本田宗一郎の遺品展示 ～人間宗一郎を語る～

本田家から旧天竜市に寄贈された、本田宗一郎及び父親である本田儀平の約1,000点にのぼる遺品の中から、本田宗一郎がものづくりに掛けた不撓不屈の精神となったルーツ、世界の自動車産業に残した偉業、人間性等を偲べる遺品を展示し、本田宗一郎氏の偉業を改めて顕彰し後世に伝えるものです。

本田宗一郎のルーツ

＜儀平＞

道具類：大工道具、臼と杵、糸くり機など
趣味の品：碁盤、火縄銃 など



本田宗一郎の偉業

表彰類：賞状、トロフィー、盾、メダルなど

写真、肖像画：天皇皇后と、さちさんと、アート商会時代、似顔絵、肖像画など

本田宗一郎の趣味

＜宗一郎＞

趣味の世界：直筆彩色画、水墨画、絵の具、ゴルフクラブ、カメラなど

生活関連の品：靴、椅子、ネクタイ、帽子、衣類など

趣味の収集品：鎧兜、飛行機の模型、花絵皿、船の置物、お面、F1 模型など

その他：本人の手形、将棋免状、本田氏撮影写真作品など



勲一等旭日大綬章などの勲章



なつかしい思い出の写真



引退後始めた趣味の日本画



表彰や感謝の記念品



ボーイスカウト・ゴルフウェアなどの遺品

■ コンテンポラリーダンス ■



水の旅



水しぶき



龍水の都



■ ミュージカル「SOICHIRO物語」 ■



「やрмаいか」を歌う出演者



わんぱくトリオは、悪知恵の宝庫



嵐の中、自転車で突き進む宗一郎



ユーモラスな歌は、お手のもの



父の仕事を手伝う宗一郎



先生はいつの時代も、厳しく、優しく



自転車の修理を学ぶ宗一郎



夢はメカニック！キマッタネ！

未来のパートナー「ASIMO」に会おう

11月12日（日）会場:浜松市天竜壬生ホール 野外ステージ



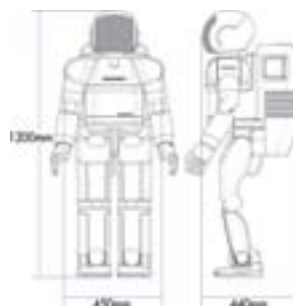
ASIMO

ASIMOのネーミング

Advanced ……新しい時代
Step in ……ステップ
Innovative ……革新
Mobility ……モビリティ

「ASIMO」とは、Advanced Step in Innovative Mobility。
これは、新しい時代へ進化した革新的モビリティを
意味します。

ASIMO は、近い将来、実際に人間の生活空間で活動することを想定して研究・開発を行いました。
人間の生活空間での自由自在な移動、作業しやすいサイズや重量、簡単な操作性を実現しました。また、より身近に感じていただけるデザインとしました。



ASIMO の特徴

小型・軽量化

より進化した歩行技術

動作範囲を広げた腕

簡単な操縦性

親しみやすいデザイン



ASIMO 子供とフラダンス



ASIMO お客様にあいさつ



history 2



東京湯島の修理工場「アート商会」の、丁稚小僧時代



1928年 22歳で独立。アート商会浜松支店を設立

平成19年7月29日（日）

昼の部 開場／13時00分 開演／13時30分

夜の部 開場／17時00分 開演／17時30分

会場／B-con plaza 「フィルハーモニア ホール」

大分県別府市山の手12-1

■ 記念公演プログラム（昼・夜共通） ■

- 1 本田宗一郎顕彰会 会長あいさつ
- 2 ASIMO ショー
- 3 「ロック太鼓」
- 4 コンテンポラリーダンス「龍水の都」
＜休憩＞
- 5 本田宗一郎の軌跡（映像により紹介）
- 6 ミュージカル「本田宗一郎物語」

主催／本田宗一郎顕彰会

「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会

協力／ホンダ太陽（株）・（株）ホンダロック

制作／（株）日本シアタサービス（JTS）

スタッフ

◆コンテンポラリーダンス「龍水の都」

ダンス指導 太田 良子

作 曲 山本 裕治

◆ミュージカル「本田宗一郎物語」

脚本・演出・演技・歌唱指導 芹沢 文子

歌唱指導 関 彰子

作 曲 山本 裕治

舞台監督 酒匂 正博

◆企 画 浜松市天竜区 区振興課

◆総司会 寺田 亜矢子

history 3



1946年 無線機用発電機を改造し自転車に装着



1979年 荒川にてカーチス号（復元）を試乗

■ ロック太鼓 ■

～愛と力と心を込めた、和太鼓が響く～

「ロック太鼓」は、(株)ホンダロックの女性従業員で結成された和太鼓チームです。(株)ホンダロックは、昭和37年に本田宗一郎が設立した会社です。これが縁で宮崎県からかけつけてくれました。

打ち手の皆さんからのメッセージです。「平成9年、(株)ホンダロック創立35周年の記念式典で太鼓と出会い、太鼓に魅了された女性社員たちで、平成10年4月に“ロック太鼓”を結成しました。太鼓のすばらしさと、太鼓を打つ私達の元気を一人でも多くの人に伝えられるよう『愛と力と心を込めて』太鼓を打ちます。」

キャスト

長友	直美	青木	愛紀	野上	麻衣	日高	小百合	宮迫	朱里
大木	あずさ	齊藤	春佳	岡本	愛美	那須	ななみ	日高	あずさ
今泉	薫	鈴木	加代						

REVIEW

勇壮な「ロック太鼓」のすばらしい響きを体感しました。



「かつぎ桶」で華やかなオープニングを飾りました



「締太鼓」3人によるソロ演奏



一糸乱れぬパチさばきを披露しました



■ コンテンポラリーダンス「龍水の都」■

～天竜川の雄大さを、ダンスで織りなす～

静岡県浜松市を流れる「天竜川」は、豊かな自然と水の流れにより流域住民の文化交流の橋渡しとしていつの時代も大きく関わってきました。コンテンポラリーダンス「龍水の都」は、人々の暮らしと文化を支えている「天竜川」の雄大さと自然のイメージをオリジナル曲の演奏とダンスで表現しました。

曲名は、「水の旅」、「水しぶき」、「龍水の都」の3曲で、山に降った雨が源流を旅立ち幾筋もの溪流を集め、時には激しく・時には穏やかに南北に流れる「天竜川」を表現しました。

キャスト

中島	知里	鈴木	彩	村松	美緒	遠藤	愛理	細井	祐子
市川	千遥	岡部	奈津美	鈴木	郁美	黒川	沙織	金指	里奈
花島	栄莉菜	小木	亜純	吉林	摩耶	吉林	晃穂	山下	海
内山	梓								

演奏

松井 みか 山本 裕治 笹竹 和行

REVIEW

「天竜川」の雄大さと美しさが、曲と踊りで表現されていました。



長い旅の始まり



山に降った雨が天竜川へ流れ込む



大河へと流れる、終わりのない旅へ



水しぶきを上げて激しく躍動する



■ ミュージカル「本田宗一郎物語」 ■

～本田宗一郎が、いま心の故郷によりみがえる～

昨年11月17日に、郷土の偉人本田宗一郎は生誕100年を迎えました。本田宗一郎のなりふり構わず、ひたむきに努力する姿！夢、希望、目標を見失わない強い精神や親子のあり方にスポットを当て、浜松市天竜に生まれ15歳まで過ごした宗一郎の少年時代の実話をもとに、創作したミュージカルです。

ミュージカル「本田宗一郎物語」は、何事にもあきらめないで挑戦する宗一郎の「やらまいか！」の精神を、少年時代のエピソードから伝え、夢の実現に向けてエネルギーを与えてくれる作品です。

キャスト

大角 真名人	袴田 郁哉	平賀 建渡	青柳 早織	渥美 みのり
岡 みちる	遠山 麻実	西田 愛	山田 桃花	酒井 藍
酒井 空	生田 三紗季	藤澤 晴菜	河合 莉緒	近藤 まりも
伊藤 杏奈	大石 愛	大栞 拓斗	佐藤 来未	藤澤 紫野
馬淵 芽依	光岡 香菜子	北内 花実	佐藤 希望	山田 愛
梅林 佳美	大栞 万友子	岡 みのり	三室 輝佳	山田 大介
中田 和江	青柳 佳都代	村井 教子	寺田 亜矢子	今田 史隆
石野 良子	天野 豊久			

コンテンポラリーダンサー

REVIEW

次世代を担う子供たちが「夢」、「希望」を抱き、また、「親子の絆」についても考えさせられるミュージカルでした。



現代の天竜っ子たちの夢は何？



F1のメカニクに憧れる子ども達



勉強嫌いの宗一郎は今日も授業を抜け出す



「ハンコ事件」をおこす、宗一郎、喜代次、幸次



観客と舞台をつなぐ物語りの語りべ



飛行機を見に行きたいと父にせがむ宗一郎



チェイサーで勢揃いした、三世代の宗一郎



飛行機ショーをダンスで表現する出演者



みんないい顔で歌っているね



自然な演技に、思わず笑い



宗一郎の運命を決定づけた自動車との出会い



旅立つ宗一郎を見送る家族と友人たち



親父への感謝を歌う宗一郎



あいさつの瞬間は胸にこみあげるものが

■ B - c o n P l a z a ■



公演前のひと時 余裕の表情



JTS 音響・照明スタッフ



別府公演の開場を待つ人たち



ASIMO 子どもたちとキックボール



フィルハーモニア・ホール客席の様子



本田さちさんにお礼の手紙を渡す子どもたち



ロック太鼓のメンバー 本田さちさんを囲んで



ミュージカルのメンバー 本田さちさんを囲んで



ミュージカル公演後楽屋にて、涙！涙！



■ 視察・観光 ■



高崎山自然動物園にて猿と記念撮影



血の池地獄にて足湯につかる



マリンパレス水族館にてセイウチに触れる



ホンダ太陽(株)工場視察で説明を受ける



福岡 Yahoo! JAPAN DOME バックステージツアー

■ お楽しみ会 ■



ホテルサンバリーにて お楽しみ会







■ その他 ■



中部国際空港↔福岡空港



本田宗一郎顕彰会 会長（出発時のあいさつ）





やらまいか 歌唱練習



歌のレッスン

ミュージカル 練習風景



宗一郎の決意のシーン



学校のシーン



自動車登場のシーン

history 4



1985年 昭和天皇陛下を熊本製作所にお迎えして



ミュージカル「本田宗一郎物語」が できるまでのエピソード

今回、ミュージカル「本田宗一郎物語」の台本制作にあたり正直、「とんでもないものを引き受けてしまった」という思いでした。

ミュージカルの作品の多くはファンタジーであり実在の人物を描いたものはあまり例はないということ、「宗一郎」は郷土の偉人であり顕彰会の皆様をはじめファンが多く、そんな皆様に満足していただけるものが、はたして書けるだろうかということ、「世界のホンダ」の礎を築いた「宗一郎」をミュージカルにしてしまってもよいものだろうかということ、等々不安だらけのスタートでした。

しかし、「宗一郎」について書かれた数多くの本や、ご本人の著書などを読み、人間「宗一郎」を探っているうちにその魅力溢れる人間性や、ものづくりへのこだわりやエネルギーを一人の大人として子どもたちに伝えなければいけないという使命感にも似た衝動がおこってきました。

ミュージカルでは歌や踊りの技術はもちろん必要です。でも稽古の中ではどれだけ真剣に取り組むかということの方がもっと大切です。出演者は1つの作品を創り上げていく1つのチームです。一人一人が高い意識を持って稽古に参加しなければ良いチームにはなれません。出番の多い少ないは

関係ありません。そこをわかってもらう事が稽古の柱となります。そしてセリフの1つ1つ、歌詞の1つ1つ、音楽の1フレーズ1フレーズを感じ演じ歌う事で「宗一郎」を表現し、初めて1つの作品になり、観ている方に伝わるということ。

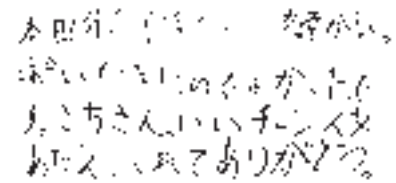
天竜っ子たちは素直で感受性も豊かであり、芝居の経験のほとんどない子たちが稽古が進む中で成長していく姿は、私の喜びでした。

また、稽古を続けていくうちに、受け身で取り組むだけでなく、積極的に発言し自分たちの作品を創っていくんだという意識が芽生えてきました。「ここはこうの方がおもしろい」など子どもたちの中から生まれたアイデアは大切にして、演出に活かしていきました。こうして徐々に「チーム宗一郎」は走り出しました。

紙の上にかかれた文字に素敵な音楽がついて、演じ・歌い・踊りながら立体的に立ち上がっていく瞬間は本当にワクワクします。

「宗一郎」と「ミュージカル」という遠く離れたもののように感じられたものが、出演者やスタッフによって1つになった時、ミュージカル「本田宗一郎」が誕生しました。

ミュージカル出演者



みんなであそび、くた、
作、切、の、
大成、力、し、の、
ふ、た、で、



東一陽の分は
私の中で
定めておいた

[illegible]

「これは、日本の文化が
よく出ています、
ありがとうございます。」



わが国がこれを行くは、東洋に
安んじ、定まらば、外に無事に公認
し出るべく、かき立て、かき立て、
またおどろく、おどろく、出でて
おどろく、おどろく、おどろく、

[illegible]

另日府公演に参加でき
 よい機会を授けて頂きました。
 感謝しています。
 ありがとうございます。



ダンスがすごく
たいへんだ、た
けど楽しかったぞ。



本田京一郎のミュージカルは、とてもおもしろかったです。いい思い出になりました。

[illegible]

つちとちかう場所です。緊張したけれど成功したのでよかったです。

[illegible]

藤澤 晴菜 (二俣小学校6年)



ミュージカルのこと。
みんなのこと。
忘れないよ。

河合 莉緒 (大瀬小学校6年)



△ 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836. 837. 838. 839. 840.

佐藤 来未 (浜北北部中学校1年)



お母さん、お父さんは、練習を繰り返して、
「最後で、アッ」と叫んで、ゴールに入りました。
またお母さんと、お父さんをみんながやりました。

佐藤 希望 (清竜中学校2年)



みんなと笑うことができて
とてもうれしかったです。
最高の思い出になりました。
ありがとうございました。

近藤まりも (大平台小学校6年)

[illegible]

藤澤 紫野 (清竜中学校 1 年)



じても愛しか、たが
す。また、みんなに会
えたいと思います。

山田 愛 (高台中学校 2 年)



私にはアコースティックなギターで、
ドラムにうしろ、タンバリンが楽に
なると知ることが出来ました。新しい
友達もでき、とても思い出に残るものと
なりました。ありがとうございました。

伊藤 杏奈 (浜北北部中学校1年)

[illegible]

馬淵 芽依 (清竜中学校 1 年)



1949年，在党的领导下，全国人民开展了轰轰烈烈的土地改革运动。通过土地改革，广大农民获得了土地，翻了身，当了家。土地改革运动极大地调动了农民的生产积极性，为农业生产的发展创造了条件。同时，土地改革运动也进一步巩固了工农联盟，为新中国的成立奠定了坚实的群众基础。

梅林 佳美 (清竜中学校3年)



このようにして
SOICHIRO 物忘れがたで
ふざけたらダメ

大石 愛 (北浜東部中学校1年)



みんなとやめた宗一郎
物語とてふ楽にみた
またさかいがあらう
みんなに会いたいな思

光岡香菜子 (清竜中学校 1 年)



「宗・如樹語」をよめたこと。この夏
（即ち、最初の夏）に出で、春竹
宗一郎にも知らせたこと、
と、ジョナルに伝えたこと。
おれは、おれ、感謝している。

大柴万友子 (清竜中学校3年)



いままで知り得ることの
なかった、東一郎さんについて、
この機会を通じて、とても身近
に感じることができました。
おかげで心がなぐさまりました。

大衆拓斗 (清竜中学校 1 年)



別府公演
とまあ楽しかったです。
ずと心に残ると思います。
ありがとうございました

北内 花実 (清竜中学校2年)





本田宗一郎さんの「カル」を九割で演じることを、本姓に良かった。また、「いいい」でソコを教えることができて、とてもうれしかった。

岡 みのり（清竜中学校3年）

[illegible]

村井 教子 (一般)



本田宗一郎物語
最高です！ミュージカル
大好きです★

三室 輝佳 (光が丘中学校3年)



公演：参加で何事せしむ。
出逢えに皆さんに、
ありがとう♡

寺田亜矢子 (一般)



楽しか、たぜ
またやうな

山田 大介 (浜松工業高校1年)



 こんにちは
おはようございます
また会えるまで
楽しみにしてます

石野 良子 (一般)



(Faint handwritten notes)

中島 知里 (二俣小学校5年)



演じる楽しさを
散ってくれたことに
感謝心

中田 和江 (浜松西高校2年)



ブロッコリー

今田 文隆 (一般)



コンテナラリーダンスの練習は大変に、たけど本番では楽しく踊る事が出来ました。

鈴木 彩 (二俣小学校 5 年)



限、神田、と出合ふに事か
望まず。

青柳佳都代 (一般)



ありがとう
LOVE♡

天野 豊久 (一般)



切れた人々の心は、一瞬にわたる
 万々の人の心とつながる事がある。
 心を繋ぎあわせるのは、心と心
 の間、空には、心と心の間、空

村松 美緒 (二俣小学校5年)



4. 公演に参加し、おどろき、
いい舞台で学んだこと、良
い思い出になりました。

遠藤 愛理 (光明小学校5年)



二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

黒川 沙織 (光が丘中学校 1 年)



今日の発表会はとも集しがたき大きなホールで観客のほとんどが外国人で、その時折、がさどく平仄が感じました。練習は不要に感じ、こども達集って来ては面白がっていました。

吉林 摩耶 (清竜中学校2年)



解の前後に「又、食を以てて、
 人の愛するものなり」とある。

山下 海 (二俣小学校5年)



別府公使をたてつけいつまでも
忘れることのない前衛の思い
出たを 読むより。

金指 里奈 (光が丘中学校1年)



とろろ ありがとう
おかげさまで

吉林 昇穂 (清竜中学校3年)



大分寒かったです。
ダンスがんばります。

細井 祐子 (光明小学校6年)



ミュージカルに合わせてダンスを表現するのが難しかったです。他校の人達と友達になれてとてもうれしかったです。

花島茉莉菜 (光が丘中学校 1 年)



感謝の気持で
いっしょにやります
いっしょにおもしろくやります。

内山 梓 (浜名高等学校2年)



きん張したけど、
楽しくやれたので
よかったです。♡

市川 千遥 (光明小学校6年)



「本田繁一郎物語」も
「龍水の都」もすく
よく出てきました。

小木 亜純 (光が丘中学校 1 年)



大変な忙しさと終わってから
少し寂しかったが、先生がスタ
ッフのみならず、本当にあり
がとうございました。

岡部奈津美 (光明小学校6年)



大分でおきて、そして最高
でした。すごくいい思い出
になりました。

鈴木 郁美 (光が丘中学校1年)



感想文 ⊕ 手紙

二俣小学校 6 年 大角真名人

さち様、いかがお過ごしでしょうか。7月の別府公演では、大変お世話になりました。昨年、11月の生誕100年記念公演が終わり、しばらくしてから、もう一度別府で公演ができると聞いたとき、ぼくは、とてもうれしかったです。そして別府公演の練習が始まる前に、ぼくは、もう一度本田宗一郎さんの本を読み返してみました。何回読んでも、本田さんの努力する姿勢や、ものづくりへのいきごみに、感動しました。そして、さち様や別府の人に喜んでもらえるよう、歌やおしぼいの練習をがんばり、みんなと一緒に別府公演を成功させようと思いました。

ぼくは、本田宗一郎さんのことは、よくしなかったけどこのミュージカルに参加して本田さんの強い意志と、やрмаいか魂にあこがれ、本田さんのことが大好きになりました。

さち様、またいつかお会いできたらとてもうれしいです。いつまでも、お元気でいてください。ありがとうございました。

下阿多古小学校 5 年 岡 みちる

九州の別府市でのミュージカルの公えんを東京からわざわざ見に来てくださって、ありがとうございました。また、わたしたちをおうえんしてくださりありがとうございました。

わたしは、七月の中じゅんからかぜがひどくなって、せきが治らないまま、九州に行っていました。

無事にぶ台でおどることができてよかったです。昼の部が終わって、さちさんとお会いできてうれしかったです。また、写真も一緒にとらせてもらったり、あく手をしていただいてうれしかったです。そしてなによりもうれしかったのは、さちさんとお話できたことです。首のほねの手じゅつの後でとても大変なのに、東京から九州まで来てくださったということをうかがって、とてもびっくりしました。今は、お体は大じょう夫ですか。

わたしはせきがひどくならないように、ホンダの工場や観光には行けませんでした。残念でした。みんなよりも先に天竜にもどって、お医者さんにみてもらったら、

「もう大じょう夫だよ。」と言われ、安心しました。

本田さんの子供時代をお話しになったミュージカルを体験して、本田さんのことを知ることができてよかったです。「浜松でも見たかった」と言う人がいました。浜松でも、もう一度公えんができればいいな、と思っています。

下阿多古小学校 6 年 酒井 藍

わたしは、この公演が本田宗一郎物語、二回目でした。だから最初は、二回目なんだから、みんな前よりかは、上手にいくはず。と思っていました。その思いは、大分公演で使うピーコンプラザを見るまでは。見たとたん、練習のときも、少しきんちょうしました。まちがえたら目立つだろうな、などとマイナスにマイナスに考えてしまいました。

本番の日になりました。楽屋の中でも、不安で頭の中でふりの確認やせりふのタイミングなどを何度もイメージしました。だんだん出番が近づいてくるにつれみんなも、ふりの確認や歌の練習、せりふの読み直しなど落ち着かないようでした。コンテンプラリーダンスが終わりました。心臓が飛び出るくらい、バクバク音をたてました。準備をしたり、友達と歌の確認をしているうちに、だんだんきん張もほぐれてきました。いよいよ、本番の幕開けです。でも最初の人が歌詞を忘れてしまいました。でも、みんなで、大丈夫だよ。次がんばろうなどと、はげまし合いました。そうやってみんなで声をかけていくうちに、少しずつ、きん張もほぐれていきました。わたしの出番になりました。なるべく笑顔でしようと心に言い聞かせました。なんとか、まちがえずにできました。みんなでやったから、失敗が少なくなったように、思えます。

今のわたしも気持ちは、もう一度、やりたい。という気持ちです。多分みんな同じでしょう。

下阿多古小学校 6 年 酒井 空

今回の公演は二回目でした。でも大分公演ということで、初めての経験がたくさんありました。わたしは飛行機に乗るのも初めてだったし、大分に行くことも初めてでした。びっくりすることが多くて少し不安もあったけどでも、なんとか無事に終わってよかったです。無事に終わったのもスタッフの方やメンバーのみんな、そして先生方などのみんなの協力があったからすばらしい公演になったんだと思います。それにもうこんな経験は、二度とないと思います。ちゃんと心の中に、大分の四日間のことをしまっておきたいです。それに、この公演がやれたのも、本田さちさんのおかげだと思います。ありがとうございました。

それから初めてピーコンプラザのホールに入ったとき、すごく広くて、練習のとき

もすぐきん張しました。ぶ台うらでは出番が無いときは、きがえの手伝いをしたりしていました。自分の出番のときはいそいで反対側に回ったりして、ぶ台うらでもけっこういそがしかったところもありました。本番が終わって、はく手がなりやむとほっとした気持ちと少しさみしいような気持ちがありました。でも無事終わって本当によかったです。

このメンバーみんなでできて本当によかったです。できればもう一度このメンバーで公演をしてみたいです。

大瀬小学校 6 年 河合 莉緒

今回の公演は、さちさんが大分に招待して下さり何から何まで、色々お金を出してくれて、ありがとうございました。

別府行きの時、飛行機に乗りました。初めて乗る人もたくさんいて、みんなテンションがあがっていました。ゆれたりすると、「ウォー」とか、いろいろ言っていて、楽しすごせました。

その日に、リハーサルが行われました。私は、壬生ホールでのリハーサルに行けなかったのですが、それが初めての通しでした。でも、まちがえることなく出てきたのでよかったです。本番大分での大きい舞台でやりました。その時は、緊張して、舞台にたつと、おもしろく笑ってしまいそうになりました。そしてその日は、無事終わることができました。さちさんも来て下さって、うれしかったです。

次の日、大分の観光で地ごとくに行くことになっていたのですが、どんな所かなあ。と、とてもびくびくしていました。でも、池が赤青なので地ごとくとよんでいることが分かりました。夜には、打ち上げでとても最高でした。

最終日、朝から水族館に行きました。セイウチに触ったり、ショーを見たりして、楽しむことができました。次に、サルを見に行きました。階段に、普通にサルがいたのでビックリしました。友達のかばんに、サルがくっついた。という事件もありました。その時、一番うれしかったのは、二足歩行のサル、さやかに会えたことです。

さちさん、とてもいい旅、ありがとうございました。

北浜東部中学校 1 年 大石 愛

わき役でしたが、わき役なりにがんばった内の一人です。

私は、去年の SOICHIRO ミュージカルにも出ました。初めてでした。

とても楽しかったし、大勢の人とさちさんに感動してもらえてうれしかったです。

それを今年の夏に、さちさんのおかげで、今度は大分県、別府市でやることになって、「うれしい」では足りないほどの「うれしい」でした。

これは期待に応えなくちゃと、先生たちはセリフをパワーアップさせたり、編曲をやり直したりと熱心で、私たちも一生懸命やりました。

「自分のお金をいっきに使って、大分で公演をやってもらおうと思ったさちさんは太っ腹だなー。」と、初めは思いました。でも、やっているうちに、

「さちさんは、本当に宗一郎さんのことをほこりに思っているんだな。」と、思いました。

練習時間は、去年に比べて、ずっと短かったので、本番で少しミスがあったりもしました。でも、大分の人たちも、さちさんも楽しそうに見てくれていたし、中には感動のあまり涙ぐむ人がいたらしくて、とてもうれしかったです。

さちさん、本当にありがとうございました。

浜北北部中学校 1 年 佐藤 来未

私はこのミュージカルでたのしかったことは、みんなと協力して成功したことです。

初めは、みんな知らない人ばかりで協力もまともにできていなかったけどだんだんみんなと協力してできるようになりました。これもこのミュージカルのきかいをくれた、さちさんのおかげです。私はこのことから、やっぱり初めは、みんなと協力することが大切ということがあらためて分かりました。これからはみんなと協力してやっていきたいです。あとは、私は今回大分県でできたことにほこりをもっています。大分県にいつてミュージカルをやるので中とははんな気持ちでやっていただい、もっとさちさんに感謝しながらやらないといけないということを心にこめていつも練習をがんばっていました。本番では少し失敗したけれど自分なりにせいっぱいミュージカルができたと思っています。本番が成功できたのは、みんながさちさんに感謝しながらやっていたからだと思います。こういうきかいは、絶対忘れません。今回やらせていただきまことにありがとうございました。またこんどもやらせてください。お願いします。

清流中学校 1 年 光岡香菜子

今回「本田宗一郎生誕百周年記念別府公演」と聞き三度目の宗一郎ミュージカルをやることにしました。

わたしがやった役は「RC 宗ちゃん (メカニック)」「生徒 G (夢は漁師)」「生徒」「喜代次 (中)」の四役をやりました。すべて好きな役ですが、その中でも一番好きな役は「RC 宗ちゃん」です。本田さんが八十二歳の時に天竜に帰郷した時會った子供の一人、という役でしたが本田さんとは知らず、自まん話をしたり、本田さんに負けたくないといったりこの役には本田さんとの共通点がないなと思いました。けどオイルのにおいが好き、そして自まんする宗一郎という名前が共通点だと思いました。

練習はきつときもありましたが、楽しいと思う気持ちがあったのでほとんどきつ

くありませんでした。

「やってみませんに」

この言葉は本田さんのいった言葉の中で一番好きです。やらなければ夢はかなわないし実現できない、という意味だとわたしは思います。この言葉をずっと忘れずにいたいです。

この公演をやるようにしてくださったさち様本当にありがとうございます。またこのような公演があったら参加しようと思っています。

清流中学校 3年 岡 みのり

今回は、別府という場所での公演を応援してくださり、ありがとうございました。この九州公演は、今年受験をひかえる私にとって中学校時代の最後のミュージカル公演でした。その公演で、ソロを歌うことになったとき、私は本当にうれしかったです。ミュージカルと一緒に公演する仲間との練習は楽しかったです。

本番は、緊張もありましたが、とっても楽しかったです。昼の部が終わった後、さちさんとお会いできて、うれしかったです。さちさんが、喜んでくださって、私もうれしくなりました。夜の部も無事に終わると、なぜか涙が出て止まらなくなっていました。このメンバーで公演することができて良かったという気持ちと、もうすべてが終わってみんなともお別れだという気持ちがあふれてきました。いつかまた、このメンバーでミュージカルをやりたいと思いました。

私はこのミュージカルを通して、本田宗一郎さんのことをたくさん知ることができました。本田さんから、何事もあきらめないでやってみることが大切なのだということを、学ぶことができました。私も何かに迷ったら、このことを思い出して、色々なことに挑戦していきたいと思います。

私はミュージカルが大好きです。そして、その大好きなミュージカルで、本田宗一郎さんのことを、九州の人たちに伝えることができて、本当に良かったです。

光が丘中学校 3年 三室輝佳

「さあ、やрмаいか・・・」のフレーズ。今も、私の頭の中をよぎっています。

昨年の壬生ホールでの公演の後、もう一度このメンバーといっしょにミュージカルを演じてみたいと思っていたところ、さちさんのご好意により別府でミュージカルを演じることができると知らされ、申し込みをしてメンバーの一人として参加することができました。

思えば、四月からの四ヶ月間、他の用事があってもミュージカルの練習を優先してきました。あつという間の四ヶ月間でしたが、メンバーといっしょに過ごす時間はとても楽しかったです。

公演当日は、初めての県外公演で緊張しましたが、精一杯演じることができました。

私たちの演技をご覧になった障害者の方をはじめ九州の皆さんに、本田宗一郎さんのことを少しでも知ってもらうことができ夢と希望を与えることができたものと思っています。

ミュージカルの公演の翌日、工場見学、観光地めぐりまでさせていただき、また、レセプションでは、さちさんといっしょに写真を撮ったり話をすることができて感激してしまいました。

私は、今回の貴重な体験をこれで終わらせるのではなく、いつも頭の片隅にしまっておいてこれからの人生のなかで、本田宗一郎さんのような生き方はなかなかできないと思いますが、苦しいことに直面したとき、本田宗一郎さんのことを思い出してそれを乗り越えて夢に向かって歩いていきたいと思っています。

さちさん、本当にどうもありがとうございました。これからもどうぞお元気で過ごして下さい。

最後に、私たちを支えてくれた芹澤先生をはじめ多くのスタッフの方々、それと別府まで見に来てくれた家族のみなさんにお礼を言いたいと思います。

浜松西高校 2年 中田和江

私は今回のミュージカル「SOICHIRO 物語」に参加することができて、本当に良かったと思っています。現在私は、在学している高校で演劇部に所属しているのですが、高校演劇とミュージカルとではまた勝手が違い、役者として成長する上で、とても大きな糧になりました。ミュージカルでは、歌に感情をのせて表現しなければならないところが大変だったのですが、練習を通して少しずつそういうこともできるようになったことが嬉しかったです。それからもう一つ、自分の中で成長できたな、と思った点があります。それは下級生とコミュニケーションをとれるようになったことです。小学生のころから4歳5歳と、年の離れた子たちと会話をしたり遊んだりするのが苦手だったのですが、ミュージカルをやっていくうちに年の離れたメンバーとも、自然に会話したり、時には一緒に遊ぶことができるようになりました。また、共演した大人の方々、先生方からも学ぶことが多く、特に時に厳しく、しかし丁寧に熱心に指導してくださった芹澤先生には感謝しています。

人間的にも成長することができた「SOICHIRO 物語」。この機会を与えてくださった本田さち様には、感謝の気持ちで一杯です。

最後に、このミュージカルで学んだことをこの先の人生で活かしていくことが、お世話になった多くの方々への恩返しだと思い、これからも頑張ってきたと思います。本当に、ありがとうございました。

一般 寺田 亜矢子

この度は、私たちに「本田宗一郎生誕100周年記念・別府公演」という非常に貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。

昨年十一月に天竜壬生ホールで行われたミュージカル、「SOICHIRO 物語」などでは、私も観客の一人でした。素敵なミュージカルや演奏・ダンスを観て、「一回で終わってしまうのはもったいない。私も出たかったな」と思いました。その後芹澤先生から九州公演の話を聞き、私も参加させていただくことになりました。今回ミュージカルではバックダンサーやナレーション、そして全体では総司会も務めさせていただき、私にとってとても多くの事を経験する事が出来ました。又、この別府公演を通じて、天竜の素直でかわいい子どもたちやこの公演を成功させようとさまざまな場で準備をしてくださっていた運営スタッフの方々・保護者の方々と出逢えたことも私の中でとても大切な宝になったように思います。そして何よりも、さちさんも別府まで足を運んでくださり私たちの公演を観ていただけたこと、みんなでさちさんを囲んで写真を撮らせていただいたことはとても良い思い出です。

別府滞在中は、ホンダ太陽（株）の工場見学で社員食堂で昼食までお世話になり、そして観光などもさせていただきました。とても楽しい、あつという間の四日間でした。

私はミュージカルのテーマ曲「やらまいか」が大好きです。♪夢があるならやらまいか♪ばやばやしてたら目の前をあつという間に通り過ぎる♪ 本田宗一郎さんが色々なことを挑戦されてきたように、私も色々なことにチャレンジしつづけていきたいです。

ありがとうございました。お体に気をつけてご自愛下さい。

history 5



1988年 米国自動車殿堂入り



1990年 FIA表彰式に セナと

本田さち様へ 前略

先日は、別府特別講演を開催して下さい、本当にありがとうございます。又、遙々遠い所から別府までお越し下さり、ととてもとても感動しました。

今回初めてお手紙を書かせていただきます。

私は、大分県別府市在住の、本原香織と申します。今回別府での特別公演をさち様やホンダの皆様や天竜の方々により、プレゼントしていただき、本当にうれしかったです。

私の仕事は、SMI ジャパンのモチベーションの仕事をしております。宗一郎様が、ご生前に SMI プログラムを取り入れて下さったと、会社の上司から聞いております。その素晴らしい宗一郎様の事を、もっと知りたいと思い、今回参加させていただきました。

私は、夜の部に参加させていただきまして、会場内で、さち様を拝見させていただいた時に、「なんて慈愛に満ちた方だろう報恩感謝を実際に行動に移していच्छやる。与える事の喜びを、本当にご存じでいच्छやるのだなあ。」と、心からそう思いました。

それから、ステージが始まりましたら皆様方それぞれが輝いていて、ステージから私のいる席まで、そのエネルギーが伝わって来ました。

特に、ミュージカルは、とても良く最後には号泣してしまいました。それは、宗一郎さんが蒔いた種（希望や夢や実現や思い描くこと等）が、私たち一人一人の心に花が咲いていたように感じました。人間の素晴らしい無限の潜在能力を感じた一瞬でした。

人間は、とても尊いもの、そして人間とは敬うものなのだと思います、気づかせていただいたことに、ただただ涙が溢れて止まりませんでした・・・・・・。

「尊い」と「敬う」2つ合わせて尊敬という言葉が、できます。

今回記念公演を別府で開催していただき、本当にありがとうございました。

今回の記念公演を通じて、新たに自分がこれからやっていきたい事がより鮮明に結晶化されました。それは、人々が無限に持つ可能性を羽ばたかせること、そして豊かな潜在能力を限りなく羽ばたかせること、そして豊かな潜在能力を限りなく引き出す事を最大限に発揮するようお手伝いする為に一人でも多くの方に、この SMI をお伝えしていきたいと思います。そして、私自身が SMI の具現者として、トータルパーソンであり続けたいと思います。

そうする事により、益々素晴らしい別府、素晴らしい大分県、素晴らしい九州、素晴らしい日本、素晴らしい世界になると思います。

さち様、どうぞ今後とも別府との交流をぜひ、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、さち様の今後のご発展とご多幸を、心よりお祈りいたします。

朝晩と昼と寒暖の差が激しいですので、どうぞお身体をご自愛下さいませ。

敬具 2007年8月吉日 愛と尊敬と感謝をこめて・・・・・・ 木原 香織

本田宗一郎 ゆかりの地



◀清瀧寺の鐘楼

二俣尋常高等小学校の高等科に在学していた時、学校のすぐ隣にある徳川家康の長男信康の菩提寺「清瀧寺」の正午を知らせる鐘を30分も早く打ち鳴らし、早弁をしたという。



宗一郎が植えた柏の木▶

この柏の木は宗一郎が幼少の頃父儀平と夜店で苗を買ってきて、山東の自宅の庭に植えたもの。樹齢100年を数える柏は今もこの地に力強く生き続けている。



◀四十八瀬川と光明山

当時、現在地の南側を川幅40mほどの曲がりくねった四十八瀬川（現二俣川）が流れており、宗一郎少年たちは川遊びや釣りに興じた。また光明山も絶好の遊び場所であった。



子どもの頃登った榎の木▶

宗一郎が通った山東尋常小学校の校庭にあった榎の木で、幼少年時代にこの木に登ってよく遊んだ。



◀子どもの頃遊んだ大池

林道光明線の起点から少し入ったところにある灌漑用ため池。宗一郎は学校の裏山を登り、級友大隅久さん方のみかん畑を抜けて大池へと下り、ここで遊んだという。

本田宗一郎 年譜

＜子どもの頃の宗一郎＞

光明村山東の鍛冶屋本田儀平とみか夫妻の長男として生を受ける。大正2年、7歳の宗一郎は山東尋常小学校へ入学する。小学校時代は「宗ちゃ」と呼ばれ、いつも体を動かし、遊びと悪戯に夢中になっていた。また一方では最新の流行を取り入れるハイカラな子どもでもあった。小学校高学年の頃、光明村にはじめてやってきた幌付自動車に魅せられ、我を忘れて車の後を追っかけた。地面に落ちた車のオイルの臭いに酔ってしまい、いつか自分で自動車を作ってやろうと思い立ったと言う。

大正6年浜松でアート・スミスが飛行機ショーを開催したが、20キロも離れた浜松までこのショーを見るため、凸凹道を大人用の自転車に三角乗りをして行った。小学5年生にとっては大変な冒険で、いかに好奇心の強い子どもでもあったかが知れる。

山東尋常小学校卒業後は、後に日本ウエルディングロッド株式会社と東洋汙機製造株式会社の社長となった親友で兄弟同然の付き合いをした山崎卯一さんと二人で二俣高等小学校の高等科へ通った。高等科2年を終えるとき、父儀平は中学への進学を勧めたが宗一郎にその気が無く、父の取っていた業界誌から自動車関連のアート商会を見つけ上京することとなった。その折、父は一人で生きていく宗一郎のために短い説教をした。「他人に迷惑を掛けるな」「博打だけはやるな」「時間を大事にせよ」この三点であった。

- ・大正11年 4月、東京本郷のアート商会に自動車修理工として入社。
- ・昭和 3年 独立し、浜松にアート商会支店を設立。
- ・昭和 8年 磯部さちさんと結婚。



▲前から2列目 中央が宗一郎。当時15歳。

＜10代後半から20代前半の宗一郎＞

アート商会の青年社長榊原郁三氏に職人としての基礎基本を叩き込まれ、創意工夫の喜びや先進技術を貪欲に吸収する気概を学ぶ。レースへの夢も育まれる。18歳のとき、単身岩手県盛岡市まで出掛け消防自動車を見事に修理した。また歌手の藤山一郎さんが旅行中浜松付近で愛車ルノーが故障し、途方にくれていたとき、通りがかりの人から腕のいい修理屋がいると聞かされ、浜松アート商会に駆け込んだ。壊れた部品は東京にしかないということで困ったが、宗一郎は代用品で部品を作り2時間ほどで修理を終えたという。宗一郎の技術の優秀さを物語る有名な話である。

- ・昭和14年 東海精機重工業の社長、ピストンリングの製造始める。

＜ピストンリングで浜松高等工業学校に学ぶ＞

ピストンリングの試作では、情熱を込めて研究に打ち込んだが、なかなかうまくいかず、地元の浜松高等工業学校（現静岡大学工学部）に教えを請いにいった。その時の教授の科学的な分析に感動し、科学知識の重要性に目覚めた宗一郎は浜松高等工業学校の機械科夜間部特別聴講生となる。30歳になろうとする宗一郎が学帽をかぶり、学生服を着て、愛車のダットサンに乗って学校に通った。しかしピストンリングの知識だけを求めて学び、理工科系以外の授業は全てさぼって期末試験も受けなかったため、ついに放校処分となってしまった。この後も血の滲むような努力を続け、昭和12年11月20日ようやくピストンリングの試作品を完成させた。しかし生産技術の問題を解決することでも大変な難しさがあり、宗一郎は多くの困難に立ち向かい並々なめ努力をした。試作から2年後にやっと大量生産にこぎつける。この間の取り組みで宗一郎はピストンリングに関わる特許を28件も取っていたという。

CHALLENGING SPIRIT

- ・昭和21年 本田技術研究所設立。自転車用補助エンジン開発。
- ・昭和23年 本田技研工業を設立し社長に、従業員34人。
- ・昭和24年 オートバイ「ドリーム号」開発。
- ・昭和27年 自転車補助エンジン「カブF」発売。小型エンジン発明で藍綬褒章受賞。
本社を東京に移す。渡米し、工作機械発注。
- ・昭和33年 小型バイク「スーパーカブ」発売し大ヒット。輸出の足固め完成。
- ・昭和34年 米国に販売会社「アメリカン・ホンダ」設立。
マン島TTレース初出場。

＜マン島TTレースに挑戦＞

昭和29年マン島TTレース参加を代理店の人たちに宣言する。このマン島TTレースに参加し、優秀な成績を得なくては世界のオートバイ市場をイタリア、ドイツなどから奪うことはできないし、こうした挑戦で技術のレベルアップもできるものと考えた。そしてダイナミックなグランプリ・レースに優勝すれば輸出が有利になるし、何よりも日本人としてのプライドを持たせることに繋がると考えた。そうして昭和29年に英国マン島にマン島TTレースを見学に行った。驚きと様々な収穫を持って帰国し、32年には製作所ごとの研究部を技術研究所として統合し、さらに35年株式会社本田技術研究所として独立した別会社にした。これもマン島TTレースが動機で、研究を徹底的に進めることが大切であると悟ったからであった。

マン島TTレースには昭和34年125ccで初参加し6着となり、初陣としては優秀な成績であった。その後、ついに36年マン島TTのグランプリ・レースに優勝、最優秀賞を受賞したほか、スペイン、フランス、西ドイツ各地でのグランプリ・レースでも優勝し、初志どおり世界一のオートバイを作ると言った本田の野望を遂げることができた。

- ・昭和37年 ベルギーに生産販売会社「ホンダ・モーター」設立。
初の四輪車スポーツカーS360開発。
- ・昭和39年 F1レースへ初参加。

＜F1レースへの挑戦＞

「レースをしなくては、クルマはよくならない。観衆の目前でしのぎを削るレースこそ、世界一になる道だ」との考えから、ホンダはF1選手権レースへの挑戦を始めた。し

かし乗用車市場への本格参入で余裕がなくなり昭和43年にはF1から撤退をした。

ホンダのF1第2期挑戦は昭和58年から始まり、平成4年まで続いた。この間ブラジル出身のレーサー、アイルトン・セナはホンダと提携し、多くの優勝を勝ち取った。

その後、平成12年ホンダは再度F1に挑戦している。

- ・昭和46年 低公害エンジンCVCC発表。
- ・昭和47年 低公害車「シビック・CVCC」発売。
- ・昭和48年 10月、本田技研工業社長を退任。取締役最高顧問就任。

＜宗一郎の企業に対する考え方＞

本田宗一郎社長はホンダの技術部門を、藤澤武夫副社長はホンダの経理・営業部門を受け持ち、それぞれが自分の得意分野には責任を持つが、他は完全に任せると言った深い信頼関係に立った経営をしてきた。

また、二人とも自分の肉親をホンダに入社させず、子どもに経営をバトンタッチするといった考えを持たなかった。

こうした考え方は、日本の実業界では珍しいことであるが、ホンダの合理的で現代的な考えが、ホンダの企業としてのよさ、強さになっているのではないかと思われる。

- ・昭和56年 勲一等瑞宝章受賞。
- ・平成 元年 日本人初の米国「自動車殿堂」入り。
- ・平成 3年 8月5日、肝不全のため死去。享年84歳。
勲一等旭日大綬章。（1991年）



宗一郎物語別府公演記念 CD

01 オーバーチュア〜宗一郎ソロ A	3:33
02 メカニックの歌	2:14
03 宗一郎ソロ B	2:05
04 いとしい幸せ	2:42
05 ナレーション 1	1:20
06 俺の好きなもの	1:44
07 俺の好きなもの (別府スペシャル)	0:22
08 ハンコ事件の歌	3:32
09 よくみてみよう	2:22
10 飛行機みたいな	2:34
11 闇を行け	4:08
12 見たぞ飛行機	1:43
13 ナレーション 2	1:13
14 父と母の歌	2:46
15 ナレーション 3	1:32
16 自動車登場〜宗一郎の決意	3:46
17 ナレーション 4	1:11
18 親父の歌	1:44
19 やらまいか	3:42
20 チェイサー	3:07

作詞 芹沢 文子 作・編曲 山本 裕治

Special Thanks 関 彰子 (歌唱指導)
松井 みか (ピアノ)

01

宗一郎ソロ A

ここに一つの夢がある 輝くひとみがある
どうかどうか持ち続けてほしい
夢の扉たたくまで
明日のことを語れぬ奴に希望はわいてこない
いつもいつも忘れないでほしい
確かに夢があったことを



02

メカニックの歌

耳をつんざくエンジン音 鼓動が高鳴る
嵐のような歓声を受けて 僕らのマシン火をふく
アクセル全開ドライバー マシンを操る
タイヤをきしませスーパードライブ
でもピットの中では僕らがヒーロー

メカニック なんてかっこいい響き
メカニック そうさ僕らの夢のせて

チェッカーフラッグ受けて輝くマシン
歓喜の輪の中ウィニングラン
どうだやっただ僕らのマシン

<間奏>

チェッカーフラッグ受けて輝くマシン
歓喜の輪の中ウィニングラン
どうだやっただ僕らのマシン
やっばり最高僕らのマシン

03

宗一郎ソロ B

ここに一つの夢がある 輝くひとみがある
いつもいつも忘れないでほしい
確かに夢があったことを

君たちはもう知っているだろう
何かを作る喜びを
君たちはもう知っているだろう
夢中になれる素晴らしさを

きっと明日は君たちを待ってる
きっと未来は君たちの中
きっと明日は君たちを待ってる
きっと未来は君たちの中

04

いとしい幸せ

緑の森奥深く 小さき子ら歌ってる
ここにいるよと歌ってる
澄んだひとみを持つという 小さき子らの歌声は
今日も地上に舞い降りる

小さな星のまたたきに見守られ
やわらかな風にそっとふれ
ゆるやかな時の流れは
小さき子らの 心はぐくむ

今は何もわからなくても
いつかきっとわかるだろう
今は何もわからなくても
ただ受け止めるだけでいい
いとしい幸せを

06

俺の好きなもの

俺の好きなもの 俺の好きなもの
「そりゃ川さ」

飛び込む もぐる 魚釣る
飛び込む もぐる 魚釣る

俺の好きなもの 俺の好きなもの
「山も大好きだぜ」

虫とり 探検 山すべり
虫とり 探検 山すべり

学校抜け出しエッサッサー
授業サボって最高さ
「でもな、俺、逃げてただけだよな。
山も川も大好きだけど、これでいいのかなあ。」

俺の好きな川 俺の好きな山
俺の好きなもの 俺の好きなもの
俺の好きな 天竜
みんな好きな 天竜

08

ハンコ事件の歌

やった明日から夏休み
山行く川行くどこへ行く
夏の祭りでワッショイ!ワッショイ!
花火も太鼓もドンドンドン
遊びまくって日が暮れて
朝が来たってまた休み

喜代次「つとその前に」

甲乙丙丁 甲乙丙丁 甲乙丙丁 甲乙丙丁
どうするどうする通信簿「丙!」
ゆううつゆううつ通信簿「丙!」

母ちゃんにみせたら夕飯抜きだ
父ちゃんにみせたらゲンコツ飛ぶぞ
でもみせなきゃハンコがハンコがもらえない
みせなきゃ休みが休みが始まらない

宗一郎 「そうだ、俺にいい考えがある」
幸 次 「いい考えって?」
喜代次 「何だよ宗ちゃん?」

作りゃいいのさハンコを
作りゃいいのさハンコをな

幸 次 「作るってどうやって?」

俺んち自転車屋 使える物があるだろう
君んち自転車屋 使える物があるでしょう
要らないチューブをちょっと拝借
小さくハサミで切り取って
ここから腕のみせどころ
名前を彫るのさ 彫刻刀で

ゆっくり ゆっくり ゆっくり ゆっくり
ゆっくり ゆっくり ゆっくり ゆっくり
しっかり しっかり しっかり しっかり
しっかり しっかり しっかり しっかり

宗一郎 「ハイできあがり!」
喜代次 「すごいや宗ちゃん」
幸 次 「これで明日から思う存分遊べるぞ」

やった明日から夏休み
山行く川行くどこへ行く
夏の祭りでワッショイ!ワッショイ!
花火も太鼓もドンドンドン
遊びまくって日が暮れて
朝が来たってまた休み

やった明日から夏休み
夏の子どもがあふれだす
夏の子どもがあふれだす

09

よくみてみよう

鳥はどうして飛べるのか
自転車どうして動くのか
知ってるようで知らないこと
僕らのまわり あふれてる
どうしてなんだ なぜだろう
よくみてみよう 考えなくちゃ

空がどうして青いのか
雨はどこから降ってくる
知ってるようで知らないこと
見ているだけじゃ わからない
どうしてなんだ なぜだろう
よくみてみよう 考えなくちゃ

僕の心はいつも求めている
僕のひとみはいつも探してる

興味津々よく見てふれて
音がするかも においはどうだ
よくみてみよう よくみてみよう
考えなくちゃ かんがえなくちゃ

そうさ僕らはいつだって
自由な自由な探求者
そうさ僕らはいつだって
自由な自由な探求者



10

飛行機見たいな

おーい宗ちゃん知ってるかい
おーい宗ちゃん知ってるかい
すっげえーんだぜ
とにかくすっげえーんだぜ

驚くなよ 驚けよ
驚くなよ 驚けよ

宗一郎「どっちだよー」

腰抜かすな 腰抜かすぞ
腰抜かすな 腰抜かすぞ

宗一郎「だからどっちだよー」
喜代次「アメリカから飛行機が浜松に来て、
幸 次「宙返りやらなんやら曲乗りのショーって
やつをやるらしいぜ」
宗一郎「ホントか? 飛行機が来るのか?」

見たいな 見たいな 空飛ぶ飛行機
行きたいな 行きたいな 飛行機ショー
見たいな 見たいな 空飛ぶ飛行機
行きたいな 行きたいな 飛行機ショー
飛行機が見たい

11

闇を行け

行かなくちゃ行かなくちゃ
この闇の先に

「闇は深いぞ気をつけろ」
「風は強いぞ気を抜くな」

風を切れ 風を切れ
この想い乗せて



この気持ち 「つきあげろ熱い想い」
抑えきれない「走り始めた」
長い道 「長い道」

<間奏>

見てみたい 見てみたい
この自分の目で

「目に映るもの それ何だ」
「手に触れるもの それ何だ」

触りたい 触りたい
この自分の手で

明日はすぐそこ「明日はすぐそこ」
もう夜が明ける「もう夜が明ける」
明日はすぐそこ
もう夜が明ける「もう夜が明ける」
もう夜が明ける「明日はすぐそこ」
明日はすぐそこ
明日はすぐそこ
明日はすぐそこ

14

父と母の歌

少し危なっかしくても
ちょっといきすぎても
きっと前を向いて歩いているから
信じてあげよう自分の子

握りこぶしが震える
叱りたい気持ちを抑えて
彼と向き合って話を聞こう
信じてあげよう自分の子

知らないこと知るよろこび
憧れを目の前に
幾千の言葉並べるより
幾枚の写真飾るより
きっと心育つはず

今日あの子が見つけた何か
小さな小さな芽を出す日まで
見守ってあげる
見守り続ける
自分の子だから
自分の子だから
自分の子だから
自分の子宝

16

自動車登場～宗一郎の決意

おーい大変だ 自動車が来るぞ
自動車 自動車 自動車 自動車
自動車がくるぞ

おーい宗ちゃん 自動車が来るぞ
自動車 自動車 自動車 自動車
本物が来るぞ

どこだ どこだ どこだ 自動車は
まだか まだか まだか 自動車は
どこだ どこだ どこだ 自動車は
来るぞ 来るぞ 来るぞ 自動車が

どけ どけ どけ どけ とつとどけ
どけ どけ どけ どけ とつとどけ
自動車様のお通りだ 自動車様のお通りだ

どけ どけ どけ どけ とつとどけ
どけ どけ どけ どけ とつとどけ
そうさ俺が自動車様だ

真っ黒ボディーに ぴかぴかタイヤ
四角い顔のボンネットには まあるいライトがキラッ
エンジンうならせ ほこりをまき上げ
デコボコ道でもなんのその
そうさ俺が自動車様だ そうさ俺が自動車様だ

おーい道あけろ おーい道あけろ
おーい道あけろ 小僧道あけろ

出逢ってしまった この衝撃
こみ上げてくる この喜び
体がしびれ洪水の中 放り出された気分

「これが自動車か!」
これが自動車 これが自動車 これが自動車
これが自動車 これが自動車 これが自動車
心の震がはれる 体の中から湧き上がる

そうだ そうだ これなんだ
やっと やっと やっと見つけた
そうだ そうだ これなんだ
これだ これだ 自動車だ



17

親父の歌

仕事する親父の背中が教えてくれた
挑戦する前に決してあきらめるな
仕事する親父のこぶしが教えてくれた
本物を作るため時間を惜しむな

たとえ多くを語らなくても
その背中がそのこぶしが俺を励ます
たとえ遠くに離れていても
心に焼きつく親父の姿

ありがとう今日まで ありがとう親父
ありがとう今日まで
俺の 俺の 俺の誇りさ

やらまいか

作詞 芹沢文子
作曲 山本裕治

with All Heart & Soul ♩ = 138

Intro. Em D/F# G6 E7/G# Am7 A7 D7



G C/G D/G G G C/G D

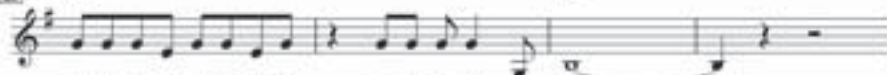


A G Em7 C D7 G



ゆめがあるなら やらまいか ゆめがあるなら やらまいか

B C G



どでかいゆめほど ちからが ぐ

Em7 A7 D7 D#dim7



せつ かくみつけた じぶんの - ゆめ -

C Em7 A7 Em7 A7



ぼやぼやしてたら めのまえを あっというまに とおりすぎる

C A7 D7



しっ かりうでだし ビシッ と - つかむ - さあ やらまい



D G C/G G C/G
か さあ やら ま い か

A G Em7 C D7 G
ゆめがあるなら やら ま い か ゆめがあるなら やら ま い か

B C G
くろうがあるほど ちからが わ く

Em7 A7 D7 D7dim7
くなん こん なん ま け て た ま る か

C Em7 A7 Em7 A7
ちよっとやせつとじゃ へこたれない くよくよしてたら もっ た ない

C A7 D7
せっ かくつ かん だ ゆめが にー げ て く さあ やら ま い

D G C/G G B7b9
か さあ やら ま い か

E Em7 Dm7 G7
きみたちは もう しつ て いる だ ろ う な に



Chord progression and lyrics for the first part of the song:

Cm7 Cm7/F Bb Ab/Bb Bb7
かをつくる - よろこびを -

Em7 Dm7 G7
きみたちはもうしっているだろう - うち

Cm7 C#dim7 D7 B7
うになれる - すばらしさを -

[F] Em7 A7 Em7 A7
しっばいなんてこわくない むかしからのがきだいしょう

Chord progression and lyrics for the second part of the song:

Am7 D7 B7
やんちゃくちゃくちゃへっちゃらさ - -

Em7 A7 Em7 A7
いしばしなんてたたかない むかしからのがきだいしょう

Am7 D7 Am7 D7
りょうてをあげてわたってやるさ - - きっ

[G] Gm Gm7/F# Gm7/F C/E
とあすはきみたちをまってる きっ



Eb Gm7 F7 Bb D7
 と み ら い は き み た ち の な か き っ
 Gm Gm7/F# Gm7/F C#E
 と あ す は き み た ち を ま っ て る き っ
 Eb Dm7 Cm7 F7
 と み ら い は *rit.* き み た ち の な
 G
 か — *accel.* — さ あ や ら ま い

H G C/G G C/G
 か さ あ や ら ま い か さ あ や ら ま い
 G C/G G
 か さ あ や ら ま い か —
 — *Fine*



やらまいか

<ミュージカル「本田宗一郎物語」テーマ曲>

作詞：芹沢 文子 作曲：山本 裕治

♪夢があるならやらまいか 夢があるならやらまいか
どでかい夢ほど 力が沸く せっかく見つけた自分の夢
ぼやぼやしてたら目の前を あっというまに通り過ぎる
しっかり腕出しビシッとつかむ さあやらまいか さあやらまいか

♪夢があるならやらまいか 夢があるならやらまいか
苦労があるほど 力が沸く 苦難、困難負けてたまるか
ちよつとやそつとじゃへこたれない くよくよしてたらもったない
せっかくつかんだ夢が逃げてく さあやらまいか さあやらまいか

♪君たちはもう知っているだろう 何かを創る喜びを
君たちはもう知っているだろう 夢中になれる素晴らしさを

♪失敗なんて怖くない 昔っからのガキ大将
やんちゃむちゃくちや へっちゃらさ
石橋なんて叩かない 昔っからのガキ大将
両手を上げて渡ってやるさ

♪きっと明日は 君たちを待っている きっと未来は 君たちの中
きっと明日は 君たちを待っている きっと未来は 君たちの中

♪さあやらまいか さあやらまいか さあやらまいか さあやらまいか



編集後記

「本田宗一郎生誕 100 年記念メモリアル」の発刊に際しまして、本田さち様のご厚意に感謝するとともに、多くの方々に寄稿していただき誠にありがとうございました。

この「本田宗一郎生誕 100 年記念メモリアル」には、本田宗一郎生誕 100 年記念の思い出として、「本田宗一郎生誕 100 年記念事業 (記念式典、遺品展、記念公演、ASIMO ショー)」や「本田宗一郎生誕 100 年記念別府公演」を掲載しました。また、本田宗一郎ゆかりの地、本田宗一郎年譜の他、ミュージカル「本田宗一郎物語」の楽曲を掲載するとともに、その楽曲音源 (CD) も添付しました。

ミュージカル「本田宗一郎物語」は、子どもたちがミュージカルを通して、地域社会に目を向けるきっかけをつくるとともに、偉人の歴史を学ぶ中から豊かな人間性を培って欲しい、そんな思いから平成 16 年度に計画したものです。

公演は、平成 17 年 11 月にプレ公演を、平成 18 年 11 月の「本田宗一郎生誕 100 年記念事業」では、本公演を開催することができました。また、平成 19 年 7 月には本田さちさんのご厚意により、大分県の B-CON PLAZA において「本田宗一郎生誕 100 年記念別府公演」を開催することができました。

参加した子どもたちは、学校・学年の枠を超えて、時にはぶつかり合い、時には励まし合いながら、色々な人との関わりの中で切磋琢磨しながら、ひとつの舞台を創り上げました。

これから更に、多様化・複雑化するであろう社会環境の中で、子どもたちがともすれば自分の進むべき道を見失うような困難に出会った時、故 本田宗一郎氏の「CHALLENGING SPIRIT」を思い起こすこととともに、一連の貴重な体験・感動をこれからの人生に活かしてもらいたいと心より願っています。

最後に、別府公演でご尽力をいただきましたホンダ太陽(株)、(株)ホンダロック、本田宗一郎顕彰会、脚本・演出・演技歌唱指導の芹沢文子先生、作・編曲の山本裕治先生、ダンス指導の太田良子先生、歌唱指導の関彰子先生、演奏家松井みか先生、舞台監督の酒匂正博様、保護者並びに運営スタッフの皆様など多くの方に深く感謝を申し上げます。

「龍水の都」文化体験プログラム

実行委員会事務局 笹竹 和行
天野 京子



本田宗一郎 生誕100周年記念 メモリアル

発 行 日 平成19年12月22日

編 集 発 行 「龍水の都」文化体験プログラム
実行委員会事務局

編 集 委 員 笹竹 和行
天野 京子

印 刷 杉森印刷株式会社